

第7回山口市議会議会改革検討協議会 会議報告書

開催日時	令和2年1月14日（月） 13:05～15:10				
開催場所	第1委員会室				
出席者	○会長 重見秀和（県都創生山口） ○副会長 富田正朗（自由民主党山口） ○委員 藏成幹也、湊 和久（自由民主党山口）、瀧川 勉、山本貴広（県都創生山口）、 其原義信（公明党）、氏永東光（高志会）、尾上頼子（日本共産党）、 山見敏雄（市民クラブ）、中野光昭（チームみらい共創） ○委員外議員 竹中一郎（山口維新の会）、植野伸一（継続力の会）				
記録者	書記 金田	欠席者	なし	傍聴	（一般）1名 （報道）4名

以下のとおり概要を報告します。

1 第5回、第6回協議会報告書について

副会長から第5回、第6回の協議内容を説明。出席委員で確認し、意見及び修正なし。

2 協議・確認事項

（1）市民参画について

○市民と議会の対話集会の実施、モニター制度

・「モニター制度については、実施市と比べ、本市議会での積み重ねがあまりないので時期尚早では」、「市民の意見を聞くことは大事。その手法が難しい」、「市民参画という柱、双方向ということを考えると市民団体等が実施される会等に積極的に参加することも大事では」、「モニター制度と市民の意見（市の施策についての意見）を聞く場というのは別。モニター制度は、議会の運営等についての意見を伺うものではないか」等の意見が出された。

→ モニター制度については、会派内で意見調整した結果をふまえ次回最終確認。

→ 継続協議

○要望書・陳情の取り扱いと提出促進

・「これまでも決められた運用のルールの中で活用している」、「運用ルールを変更して、記録として残る形にすべきでは」、「本市に関係のない事案もあるので、すべて記録に残すものでもない」、「請願、陳情という制度自体を市民は知らないなので、まずは知らせること」、「恣意的にならないようルールにないものは自由討議の場でやればいいのか」等の意見が出された。

→ 継続協議

○公聴会・参考人の積極的活用

- ・「重要案件があった場合には積極的にやってもらいたい」、「活用したら良いと思うが手続きの煩雑さもある」等の意見が出された。
- 次回、他市（八潮市）の事例などを参考に意見を詰めていく。
- 継続協議

（２）議員定数

- ・「減らせば支持者の層も変わる。地域を超えた考えも必要」、「４常任委員会でいくということを確認したので、４常任委員会×８人で３２人がいいのでは」、「議会改革をしようという場なので定数減という考えから議論をスタートすべきでは」、「提案は、定数を減らすとか、維持とかの議論ではなく、定数条例の制定を目指すうえで何人が適当なのかを議論してほしいという内容」、「議員の身を削るということは議員数を減らすということではないと思う」、「議会改革の話なので、自分たちも何ができるかを示さないと市民の信頼も得られない。そうすると定数を減らす方向で考えるしかないと思う」、「３２人に議長・副議長を含めるかどうか」、「人口減少や財政面も考慮して、その時々で話す必要があるのでは」、「定数を減らしましたよというアピールだけで、議員は必要ないという意見に対して何の反論もできない。議員活動の必要性を訴え、知らせていかないと」、「議員活動は定数が多くても、少なくてもやっていかないといけない。定数について数字的に分析することも必要」、「議会改革＝減らすという考え方には疑問。市民の中に減らせという方がどのくらいいて、何を理由に言われているかを聞いてみたい」等との意見が出された。
- 継続協議

（３）本会議、委員会について

○代表質問の実施

- ・「現在の代表“的”質問をやめて、代表質問“制”にしては」、「『会派』という考え方をどう整理するかだと思う」、「会派制をとることは確認されたので、初日は代表質問、２日目以降は一般質問としてはどうか」、「代表質問としてまとめられるだけなのか。内容も制限されるのか」、「質問の内容を制限するというのではなく、会派としてのラインを引くということ」
- 継続協議

3 まとめ及び次回協議に向けた確認事項等

【次回協議事項】

- （１）市民参画について
- （２）議員定数について
- （３）本会議、委員会について

次回開催日時：令和２年１月２７日（月）午前１０時から